

環境・廃棄物リサイクルフェア&環境シンポジウム



「環境・廃棄物リサイクルフェア / 環境シンポジウム」を終えて

つながりと支え合いで自然環境を保護する時代に

高石市・和泉市・泉大津市の合同で開催された環境・廃棄物リサイクルフェア&環境シンポジウム。環境省の奥田氏をお招きし、森里川海プロジェクトを通じた環境問題への取り組み方についてご講演いただきました。問合先 生活環境課 ☎(275)6266

現在、環境省が取り組んでいる森里川海プロジェクトは「地域循環共生圏」という考えを根拠にしています。これは地域と地域が支え合う仕組みを指します。

本来、環境的な観点では、地域ごとに環境やエネルギーのバランスが取れ、それぞれの地域が独立した「自立分散型社会」が理想的な社会ですが、実際はなかなか上手くいきません。例えば、都市では自然からの恵みは手に入りやすく、農山漁村では人手等が不足しがちです。それぞれの足りないところを補い合ってお互いを「支え合っ」という仕組みが、地域循環共生圏の考え方です。

地域の“支え合い”が
美しい自然環境を守る



奥田 直久
環境省「森里川海プロジェクト」
副チーム長 / 大臣官房審議官

森里川海の“つながり”で
自然環境を保護する

私たちの暮らしは、たくさんの自然の恵みに支えられており、その恵みは地域をまたぐ森・里・川・海によって生み出されています。しかし、昨今ではこの自然のつながりが薄れ、人と自然が触れ合う機会等も少なくなっているため、「森里川海」というキーワードのもとに地域と地域がつながりあって支え合う仕組みを作っていくことが、これからの自然環境を保護する上で重要な課題であると考えています。



地域の資源を“つなげて”活用する
森里川海プロジェクトって？

SDGs (持続可能な開発目標) を暮らしの中で実践するために、地域循環共生圏の考え方を軸に環境省で取り組まれているプロジェクト。国民全体で「森里川海を豊かに保ち、その恵みを引き出すこと」「一人一人が、森里川海の恵みを支える社会をつくること」を目的としています。

- 環境活動報告 -

泉北環境整備施設組合や各市で取り組む環境に関する活動が報告されました。その内容の一部をご紹介します。

■泉北環境整備施設組合 「おゆずり★バザール」



使用期間の短い子ども服のリユースと地域の子育て世代の支援を目的として年2回開催。これまで約4700着の子ども服を提供。

■高石市「芦田川整備事業」



二層河川への改修工事と併せて、より親しみを持ってもらえる場にするための修景工事を実施。周辺には特定非営利活動法人泉州夢さくらの会と協力し、桜の木を植樹。

■泉大津市「ごみ拾いアプリ PIRIKA」



アプリでごみ拾い活動の見える化を実施。個人または団体が拾ったごみを撮影、投稿し、市内のどこでごみ拾いが行われているかをリアルタイムで発信。

■和泉市「水辺の自然観察会・星空観察会」



環境保全の大切さを知っていただくため、市民参加型の水生生物調査を実施。星空観察会では子どもから大人まで楽しみながら大気環境保全の大切さを学ぶ。

ミニ 座談会

泉北 30 万市民で環境に やさしい地域循環共生圏をめざして



南出 賢一
泉大津市長



辻 宏康
和泉市長



阪口 伸六
高石市長

辻市長…和泉市では平成22年から「いずみいのちの森事業」で、和泉市の人口にちなんだ18万本の植樹を開始し、昨年8月に達成することができました。和泉市に海はありませんが、山があります。和泉市の山から泉大津市、高石市の海へつながるように環境を整えていきます。

南出市長…泉大津市では地域と連携した駅前での緑化イベントの開催やお子さまが生まれた際の記念植樹のための購入費を助成する施策等により、一人一人が緑を増やすというメッセージを含めた取組みを進めています。今後は高石市・和泉市と森里川海、これらの資源をどうつなぎ、活性化させていくかを考えていくために皆で力を合わせ



4人が対談している様子

ていきたいと思っています。

阪口市長…高石市には、かつて100万人が訪れた海水浴場がありました。その砂浜を再生させるため、地元団体等の協力を得て、砂浜に砂を入れたり、稚魚の放流等を実施しています。

今回のポイントは広域で環境問題に取り組むという点だと思うので、3市力合わせて環境行政に取り組んでいきます。

奥田氏…各市の話を聞いて、自然を保護するためのさまざまな活動に感銘を受けました。それぞれの活動が連携することは地域循環共生圏、森里川海の真骨頂だと思うので、お互いがつながり、支え合うことができる仕組みづくりをサポートしていきたいと思います。

「森里川海プロジェクト」に令和元年9月に賛同いたしました。これを、本日、ここに宣言いたします。

令和2年2月12日
 泉北環境整備施設組合 管理責任者 阪口伸六
 副管理責任者 辻田瑞穂
 副管理責任者 南出賢一



賛同宣言時の様子

一人一人の心がけが美しい環境の保護につながります

泉北環境整備施設組合は、これからも美しい自然環境を保護し続けるため、一部事務組合としては全国初となる森里川海プロジェクトへの賛同を行いました。環境の保護は一人一人の心がけ、行動が大きな成果につながります。皆さんも周りの方とともに自分のできることから環境問題に取り組んでみませんか。

～「森里川海プロジェクト」賛同宣言～

泉大津市・和泉市・高石市で構成する泉北環境整備施設組合は、私たちのふるさとの自然環境や生物を守り、未来に引き継ぐことにつながる4R

- ・ごみになるものの受取りを断る（リフーズ）
- ・ごみとなるものを減らす（リデュース）
- ・使えるものを再利用する（リユース）
- ・資源に作り変えて再利用する（リサイクル）

の取組みをより一層進め、これを市民の皆様方にも広く周知するため、国民全体で「森里川海を豊かに保ち、その恵みを引き出すこと」「一人一人が、森里川海の恵みを支える社会をつくること」を目指して環境省が進める「森里川海プロジェクト」に令和元年9月に賛同いたしました。これを本日ここに宣言いたします。

令和2年2月12日

皆さんも宣言しよう！“MY行動宣言”

- ☐ 地元でとれたものを食べ、旬のものを**味わいます**。
- ☐ 自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園などを訪ね、自然や生きものに**ふれます**。
- ☐ 自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで**伝えます**。
- ☐ 生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に**参加します**。
- ☐ エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで**買います**。

▶以下の環境省HPからWEBで宣言することができます！

URL: <https://undb.jp/action/>



- 当日はたくさんの方にご参加いただきました -

▼来賓挨拶

大阪府環境農林水産部長の南部和人様をお招きし、環境への取組みの話を軸にご挨拶いただきました。



▲有価物集団回収団体表彰式

回収量では第十区自治会、伸び率では高石市婦人団体協議会、などさまざまな団体が表彰されました。

▼環境・廃棄物リサイクルポスター表彰式

121名の応募の中から、羽衣小の木村友紀さんの作品が最優秀賞に輝きました。



▲リユース品無料抽選会

パソコンデスクや姿鏡などまだまだ使えるリユース品合計10点の抽選会を実施しました。

「一人一人ができることから取り組もう」

再資源化できるごみの分別回収にご協力をお願いします



本市では今後ともごみ減量・再資源化に取り組み、環境の保護につなげていきます。集団回収の紙類はもとより、びん、缶、ペットボトルに加え、プラスチック製容器包装についても引き続き、ご協力をお願いします。

分別が進めば資源の有効活用がさらに進み、地球環境への負担を減らすことができます。環境にやさしいまちづくりは、きれいで住みやすいまちづくりにつながります。

紙類

新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パック、その他雑紙

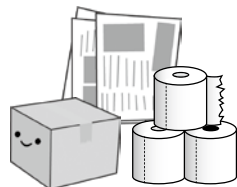


「その他雑紙」は、箱・封筒・ダイレクトメール・パンフレット・包装紙、ラップやトイレットペーパーの芯など

こんなものにリサイクルされます

紙や紙製品の原料

紙の原料の約60%が古紙といわれています。回収された紙は、また紙の原料となり、さまざまな紙製品に生まれ変わっています



新聞紙、段ボール、本、新聞、コピー用紙、トイレットペーパーなど

プラスチック製 容器包装

包装袋、包装フィルム類、食品トレー・パック・カップ類、プラスチックボトル、発泡スチロールや概ね 50cm 四方以下のプチプチなど緩衝材、ふた・ラベルなど



▲このマークが目印です



汚れは落としてから。
落ちないものは普通ごみで

こんなものにリサイクルされます

プラスチック製品の原料 など

家庭から出たプラマークのごみやペットボトルは、繊維製品、包装資材、ボトルや文房具、日用品などにリサイクルされています



くわしい分別方法や収集時の注意点は、配付しているごみ収集のパンフレットか市のホームページをご覧ください。

改めて知っておきたい ごみを減らす4つの R

R efuse リフューズ

「断る」

- ・マイバッグを持ちレジ袋はもらわない
- ・過剰包装は断り、簡易包装に協力する
- ・チラシなど不要なものはもらわない

R educe リデュース

「出さない」

- ・詰め替え用がある製品を選ぶ
- ・食べ残ししないようにする
- ・生ゴミは水切りし、量を減らして出す
- ・使い捨てをせず、マイ箸などを使う

R euse リユース

「再利用する」

- ・修理しながら大切に使う
- ・繰り返し使えるものを使う
- ・リサイクルショップなどを利用する
- ・ごみにする前に、別の使い方を考える

R ecycle リサイクル

「再資源化する」

- ・びん・缶やペットボトル、プラを分別する
- ・古紙類や古布を集団回収に出す
- ・再生品を選ぶ